令和６年度進捗評価シート

（令和４年３月２２日認定）

□ 進捗評価シート（様式1）

① 組織体制（様式１－１）

1 「計画推進協議会（法定）」、「庁内推進会議」及び「担当者会」の開催 …… 1

② 重点区域における良好な景観を形成する施策（様式１－２）

1 景観計画の活用 …… 2

③ 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式１－３）

1 城山公園整備事業 …… 3

2 無電柱化事業 …… 4

3 動線環境整備事業 …… 5

4 民間建築物ファサード整備費補助事業 …… 6

5 歴史的風致形成建造物保存対策事業 …… 7

6 古民家再生モデル事業 …… 8

7 郷土芸能保存会補助金事業 …… 9

④ 文化財の保存又は活用に関する事項（様式１－４）

1 文化財の修理、防災について …… 10

2 文化財の保存及び活用の普及・啓発 …… 11

3 重点区域内での埋蔵文化財の取り扱いの強化 …… 12

4 文化財の保存又は活用に関わっている住民、NPO法人、各種団体等の活動について …… 13

⑤ 効果・影響等に関する報道（様式１－５）

1 神楽やバザーで里山にぎわう 大洲「柳沢ほたるまつり」 ほか …… 14

⑥ その他（効果等）（様式１－６）

1 「大洲市歴史的風致維持向上計画（第2期）」掲載事業の進捗状況 …… 15

2 官民連携で取り組んだ古民家改修事業に対する外部評価 …… 16

□ 法定協議会等におけるコメントシート（様式2） …… 17

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
「計画推進協議会（法定）」、「庁内推進会議」及び「担当者会」の開催	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	本計画の推進にあたっては、文化財保護担当部局の文化振興課、まちづくり担当部局の都市整備課及び観光まちづくり課を事務局とした大洲市歴史的風致維持向上計画庁内推進会議を設置するとともに、歴史まちづくり法第11条の規定に基づく「大洲市歴史的風致維持向上計画推進協議会」において計画の推進や変更等の協議、調整、連絡を行い、本計画の事業を推進する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

庁内で組織する「大洲市歴史的風致維持向上計画庁内推進会議」を令和6年12月18日、令和7年3月17日の2回開催し、今年度実施する事業の情報共有を図り、その進捗評価と次年度実施予定事業の課題等の検討を行った。
また、「大洲市歴史的風致維持向上計画推進協議会（法定協議会）」を令和7年3月25日に開催し、今年度実施事業の進捗評価を行った。
更に、3回の担当者会を実施し、部局間の情報共有を図るとともに事業の円滑な推進に向けて協議調整を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	歴史まちづくりに関する先進的な取り組み事例や、将来の人口減少期を見据えた文化財・歴史的資源の保全の仕組みなど、庁内で総合的な政策への反映を図って行く必要がある。

状況を示す写真や資料等

■大洲市歴史的風致維持向上計画推進協議会
（法定協議会）

〇開催日
令和7年3月25日

議事
①計画の進捗評価について
②令和7年度事業計画について
③歴史的風致形成建造物の指定について
④現地視察

大洲市歴史的風致維持向上計画推進協議会
（令和7年3月25日）

■ 大洲市歴史的風致維持向上計画庁内推進会議

〇第1回開催日
令和6年12月18日

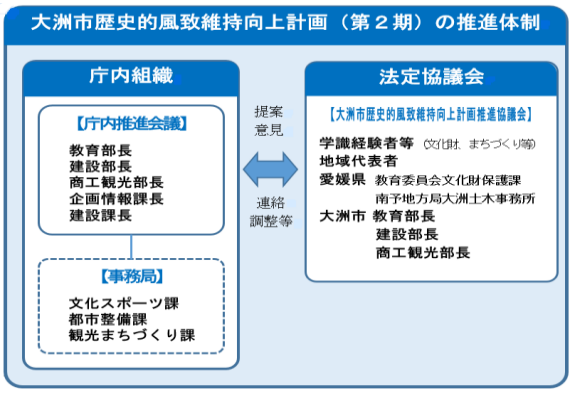
議事
①令和6年度事業進捗状況について
②その他

〇第2回開催日
令和7年3月17日

議事
①計画の進捗評価について
②令和7年度事業計画について
③歴史的風致形成建造物の指定について

大洲市歴史的風致維持向上計画庁内推進会議
（令和6年12月18日）

■担当者会
〇開催日　4月、11月、2月　（計3回）
〇議事　事業進捗確認



■その他
なし

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
景観計画の活用	□実施済 ■実施中 □未着手

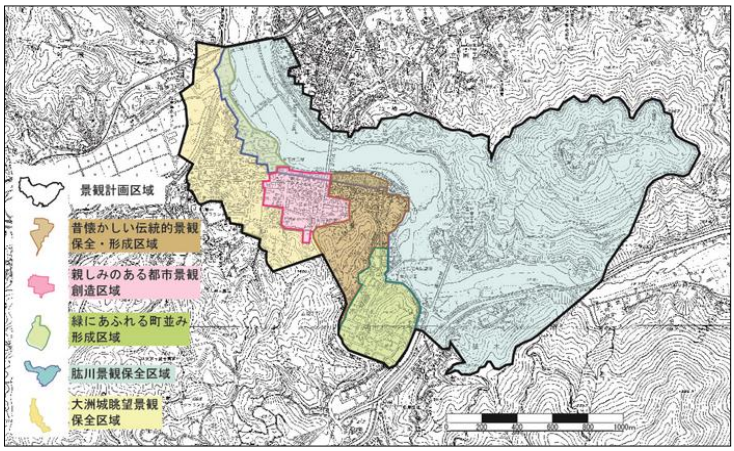
計画に記載している内容	景観計画区域内を、5種類の区域に細分化し、それぞれの区域で建築物や工作物の新築・増築・改築、屋外広告物の設置等について、方針を設け適正な規制を進めていく。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

景観計画区域内の良好な景観形成を図るため、平成21年に施行した大洲市景観条例に基づき、建築物や工作物の新築等、屋外広告物の設置などに対して適正な指導を行った。
・令和6年度届出件数：26件（昨年比4件増）

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	建築物の新築等により、依然として昔からの古い町並みが消失しつつある。特に、昔懐かしい伝統的景観保全・形成区域においては、歴史的風致形成建造物の保全及び候補物件の選定とともに、景観計画によりできるだけ町並みの連続性を維持していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



■昔懐かしい伝統的景観保全・形成区域
・令和6年度届出件数：4件

■親しみのある都市景観創造区域
・令和6年度届出件数：6件

■緑にあふれる町並み形成区域
・令和6年度届出件数：2件

■肱川景観保全区域
・令和6年度届出件数：10件

■大洲城眺望景観保全区域
・令和6年度届出件数：6件

※上記の内、重複区域　2件

景観行為等に係る規制一覧表

	建築物						工作物				
	屋根	付属施設	壁面線	高さ	色彩	素材	塀・門扉	その他	自動販売機	案内板サイン	屋外広告物
昔懐かしい伝統的景観保全・形成区域	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
親しみのある都市景観創造区域	○	○	○	○	○	－	－	－	－	○	○
緑にあふれる町並形成区域	－	○	○	○	○	－	○	－	－	－	○
肱川景観保全区域	○	○	－	○	○	－	－	○	－	○ 光源含む	○
大洲城眺望景観保全区域	－	－	－	○	△	－	－	○	－	○	○

○：規制有り　△：部分規制有り　－：規制なし

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
城山公園整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

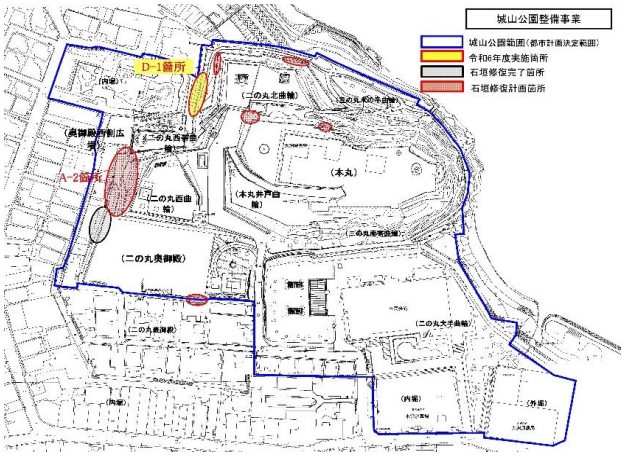
事業期間	平成24年度～令和13年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市公園等事業）
計画に記載している内容	城山公園内の崩壊の危険性が高い石垣を、伝統工法（空石積み）で改修を行うとともに、石垣に悪影響を与えている樹木や大洲城跡の眺望景観を害している樹木の伐採・移植・新植などの適切な処置を行う。また、事業認可区域を拡大し、公園内施設跡地の整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和5年6月の大雨により被災した石垣D-1箇所の修復に着手している。石垣解体作業にあたり解体した石材の状態が悪く石材の検討をする必要が生じることとなった。また、工事施工箇所の隣接地に家屋があるため、慎重に施工する必要がある。
また、城山公園植栽整備計画（第2期）計画に基づき樹木（杉の木N=2本）の伐採を実施した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	発掘調査により、文化財的価値を保存、向上しつつ、来訪者の安全性を図ることが必要であり慎重な施工が求められることと、工事の特性上、多額の費用と時間を要する。 当初の事業計画期間を超過しているが、事業認可期間を延長しながら今後も公園の供用をしながら、石垣改修、広場整備、植栽整備を継続し城山公園の魅力を高める。

状況を示す写真や資料等



城山公園石垣修復平面図

令和5年6月に崩壊した石垣D-1箇所の状況
（令和5年9月）

石垣の解体状況
（令和7年3月）

石垣修復委員会個別指導の様子
（令和7年3月）

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
無電柱化事業	□実施済 ■実施中 □未着手

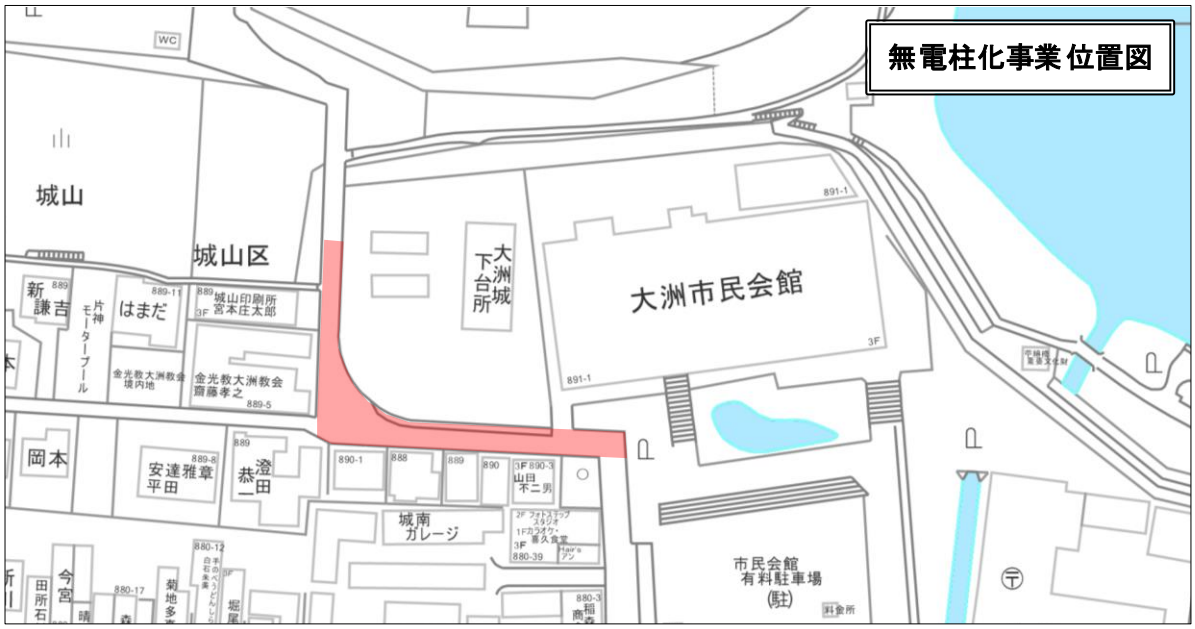
事業期間	令和4年度～令和13年度
支援事業名	都市構造再編集中支援事業 市単独事業
計画に記載している内容	重点区域内の歴史的町並みを有する肱南地区において、無電柱化を推進することにより、歴史、文化が織りなす美しい景観や大洲城の眺望等の向上と、住民や来訪者の安全を確保する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

地元説明会で受けた要望等を踏まえ、電気通信事業者と設計内容の変更について協議を行い、立上げ電柱の位置変更等に理解を得ることができた。
また、電気通信事業者との協議内容について地元区長へ報告を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	当該電柱には多数の電気通信事業者が架線している為、設計段階から電気通信線移設段階まで、密に協議し連携する必要がある。 地元説明会を開催したが、設計内容、及び施工上生じる通行制限等について地元の了承を得ることができなかった。 今後の予定として、改めて地元説明会を行い、工事着工を行いたい。

状況を示す写真や資料等



事業位置図

地下埋設予定電線 ①

地下埋設予定電線 ②

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
動線環境整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和5年度～令和13年度
支援事業名	都市構造再編集中支援事業 市単独事業
計画に記載している内容	重点区域内の歴史的建造物を巡る動線は、舗装の老朽化が目立つことから、周辺景観に配慮した路面整備を行う。また、動線上にある空き地等を活用し、住民及び来訪者の憩いの場、または多目的広場等を整備する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和5年度から事業着手し、今年度は市道本町線の石畳風舗装による全面改修及び市道元吉町線外1線の修繕を実施した。実施により、住民・来訪者の安全性・利便性の向上並びに町並み景観の向上に寄与することが出来た。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	実施（石畳風舗装改修工事）にあたっては、一定期間の通行制限が必要となることから、地域住民の協力が必要となる。このことから、地域住民等への説明を行い、協力を頂きながら進めて行きたい。

状況を示す写真や資料等

市道本町線（石畳風舗装）

着工前

完成

市道元吉町線（石張修繕）

着工前

完成

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
民間建築物ファサード整備費補助事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	景観計画区域内における「昔懐かしい伝統的景観保全・形成区域」で行われる、建築物の外観の改修・新築等に対し、補助金の交付を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

平成23年10月に制定した「大洲市景観形成推進事業費補助金交付要綱（平成25年7月1日一部改正）」に基づき、景観条例の規制に伴い増加する建築コストに対し補助金を交付するための予算措置を行い、1件の補助を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	現代の車社会により、建築物を新築される際、建築物を後退し道路側へ駐車スペースを設けるケースが多く見受けられ、連続性のある壁面線の構築が難しくなっている。

状況を示す写真や資料等

補助実績　（単位：円）

項目	件数	内、新築件数	補助対象事業費	補助金額	
屋根	0	0	0	0	申請なし
外壁	1	0	972,728	486,000	
建具	0	0	0	0	申請なし
壁面線構築	0	0	0	0	申請なし
その他	0	0	0	0	申請なし
計			972,728	486,000	

竣工検査写真
（令和7年3月14日）

整備補助率等

項目	補助対象経費	補助率	限度額
屋根	（新・増・改築、修理いずれとも） 和瓦を使用、設置するために要した費用のうち、構造材を含まない額	1/2	合計金額において1,500千円
外壁	（新・増・改築、修理いずれとも） 外観に自然素材を使用、設置するために要した費用のうち、構造材を含まない額	1/2	
建具	（新・増・改築、修理いずれとも） 木製建具を使用、設置するために要した費用に相当する額	1/2	
壁面線の構築	（新・増のみ） 前面駐車場の隠蔽等景観形成基準に基づき壁面線を新設あるいは増設する必要が生じた場合、自然素材を用いた壁面線の新設等に要した経費	2/3	400千円
その他	上記以外の修景事業に要する経費で、自然素材を用いて実施するもののうち、事前協議及び審議会の審議において必要と判断されたもの（金属製建具の隠蔽のための木製格子の設置に要した経費等）	1/2	250千円

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
歴史的風致形成建造物保存対策事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和4年度～令和13年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業） 市単独事業
計画に記載している内容	重点区域内で歴史的風致形成建造物に指定した建造物について、地域の歴史的風致を維持するために必要な修繕、修復費等に対して補助を行う。 また、伝統的建築技術講習会の開催等、建造物の持つ「大洲らしさ」を保存した修復技術の習得を推進し、技術者の育成を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

国登録有形文化財への登録、景観重要建造物や歴史的風致形成建造物への指定を推進し、保護と活用を図るため、 肱南地区の歴史的建造物3件を調査した。調査物件は幕末～大正期の建築であることが判明し、今後の保護の方針などを定める指標となった。
「大洲市歴史的風致形成建造物保存対策事業費補助金」制度により、国の街なみ環境整備事業の採択を受け、歴史的風致形成建造物の保全1件（古学堂跡 学室：令和6年度繰越事業）を行ったとともに、市民意識の向上に資するイベントの開催費（ソフト）の補助を行った。
また、指定候補物件の中から1件を歴史的風致形成建造物に指定し、これにより合計27件の指定となった。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	保存対策事業の実施と並行して、区域内にある未調査の歴史的建造物の調査を行い、歴史的風致形成建造物の候補物件を追加していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○歴史的建造物調査

歴史的建造物調査の様子
（令和6年11月10日）

歴史的建造物調査の様子
（令和6年11月10日）

○歴史的風致形成建造物の修理等
補助率3分の2　限度額1,000万円　古学堂跡（学室）の保存修理 【R5→R6繰越事業】
補助率3分の2　限度額50万円　　歴史的資源を活用したアート＆クラフトイベント

古学堂跡（学室）保存修理完了検査
（令和6年7月10日）

歴史的資源を活用したアート＆クラフトイベント
（令和7年1月17日～27日）

○歴史的風致形成建造物の指定　　1件

令和6年度　歴史的風致形成建造物指定一覧

年度	指定番号	候補番号	文化財	景観重要建造物	建造物の名称	建造物の所在地	所有者 氏名
R6	27	55			宮崎家住宅	大洲市大洲361	株式会社ＫＩＴＡ

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	－
項目	現在の状況
古民家再生事業	■実施済 □実施中 □未着手

事業期間	平成25年度～令和5年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業） 地方創生推進交付金
計画に記載している内容	重点区域内にある古民家について、その建築物がもともと持っている外観と室内空間の良さを残しつつ、現代の暮らしとニーズにあった機能性・安全性を確保した改修等を支援し、保全及び活用を図る。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

平成26年度において、民間3団体と大洲市で構成する「大洲市古民家再生推進協議会」を設立し、国土交通省の歴史的風致維持向上推進等調査の指定を受けて、再生候補物件2棟の詳細調査と改修案の作成を実施。

平成29年度は、町並みを形成する町家・古民家等の活用について、内閣府の「歴史的資源を活用した観光まちづくり連携推進室」から専門家派遣を受け、観光客等をターゲットにした宿泊、飲食等へのビジネス展開について検討・研究を実施。

平成30年度には町並みの保全を目的に『町家活用エリア計画』を策定している。

令和元年度から「街なみ環境整備事業」の採択を受け、市は、民間事業者（地域経済牽引事業者）と連携して、同事業者が実施する歴史的風致形成建造物指定候補物件のリノベーションに要する費用に対して『町家活用等改修事業費補助金』を交付。民間事業者による宿泊事業を主とした新たな観光産業を創出させることで、民間の経済活動により町並みを保全し、経済の好循環を図っている。

令和元年度～令和3年度までに24棟改修済み（令和元年度8棟、令和2年度10棟、令和3年度6棟）。令和4年度は4棟改修予定であったが、改修工事の際、躯体部分に想定以上の腐食が発見されたことで追加工事が必要となり、令和5年度に繰越し、令和5年6月に完成。補助金を活用した改修棟数は、合計28棟となった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	地方創生戦略に基づき、官・民連携による町家・古民家の保全と活用に向けた体制が整備されたことで、計画的な事業推進による観光産業の発展と、そのことに伴う民間投資の促進が期待できる。 地域経済牽引事業者を承認した地域未来投資促進法による基本計画、事業計画が平成30年度から令和4年度で満了したことにより、当事業は完了し、令和6年度からは歴史的風致形成建造物保存対策事業を活用して古民家改修を行う。

状況を示す写真や資料等

大洲市　町家・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくり事業　（単位:千円）　R6.3.1時点

計画	建物詳細/項目	1民間施行町家改修分（間接補助事業）			2市施工分（直接事業）		活用計画等			
		事業費計	民間負担	市補助金	事業費計	国補助 a	宿	部屋数	飲	他
1期 R1 繰越 R2	浦岡邸:4棟 村上(長)邸:3棟(蔵含まず) いづみや別館:1棟 旧加藤家住宅(実施設計) 合計　8棟	268,720	131,800	136,920	4,983	70,951	7	(9)	1	1
2期 R2	村上(長)邸:蔵2棟 村上(長)邸:長屋6棟 旧程野製糸場繭倉庫 （臥龍赤煉瓦倉庫）1棟 旧加藤家住宅:1棟 合計　10棟	204,358	102,120	102,238	65,456	83,200	9	(10)	2	2
3期 R3	今岡邸:2棟 村田邸:1棟 伊東邸:1棟 山下邸:1棟 中川邸:1棟 合計　6棟	267,180	119,452	147,728	0	73,864	6	(8)	3	2
4期 R4 繰越 R5	磯崎邸 城戸邸 村上(長)邸別邸1 村上(長)邸別邸2 合計　4棟	173,369	104,849	68,520	0	34,260	4	(4)	0	1
計画全体	全体:28棟 (内:町家27棟)	913,627	458,221	455,406	70,439	262,275	26	(31)	6	6

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
郷土芸能保存会補助金事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成17年～令和13年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	伝統ある郷土芸能保存団体が行う、郷土芸能の保存、継承及び後継者育成に係る活動について、必要に応じて学識経験者等の指導、助言を得ながら、これらの経費に対して補助金の交付を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

伝統芸能を後世に保存継承するため、伝統芸能の継承、後継者育成活動を継続している市内の伝統芸能保存団体（7団体）に対して、保存継承及び後継者育成にかかる経費の一部として補助金を交付した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	補助金交付団体8団体の内、1団体については練習などへの参加者が少ないことから今年度も活動を自粛している。各団体ともに、構成メンバーの高齢化が進んでいるが、少数とはいえ若手の参加を得て、後継者としての育成を図っている。また、市内外での公演活動にも熱心に取り組んで、活動の維持に努めている一方で、イベントの告知などの工夫が必要なところも見られるため、方法などについて対策を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

令和6年度補助金交付状況

番号	補助金交付団体名 (文化財指定区分)	交付金額(円)	事業の効果
1	主馬神伝流保存会 (県指定無形文化財)	400,000	小・中・高生の泳法後継者の育成指導を行い、全国大会へも多くの参加を得るなど、伝統泳法の保存活動を行うことができた、
2	藤縄神楽保存会 (県指定無形民俗文化財)	242,000	柳沢地区のほか、大洲まつり、梼原で行われた雲の上の神楽大会など数々の祭り・イベントに出演することで、地域の貴重な文化財の継承、後継者の育成を図ることができた。
3	大谷文楽保存会 (県指定無形民俗文化財)	100,000	各種公演とともに、地元中学の総合学習への協力などの保存伝承活動により、伝統文化の活性化・地域文化の振興に努め、後継者の育成を図ることができた。
4	山鳥坂鎮縄神楽保存会 県指定無形民俗文化財)	64,000	市内外ので公演を行うことなどにより、伝統文化の活性化並びに地域文化の振興に努めたとともに、後継者の育成を図った。
5	上須戒相撲甚句保存会 (市指定無形民俗文化財)	50,000	上須戒地区の祭りに出演することで、地域の貴重な文化財の継承を図るとともに、後継者の育成に努めることができた。
6	伊予長浜豊年踊り保存会 (市指定無形民俗文化財)	80,000	長浜地区の祭り・イベントに出演することなどを通して、地域の貴重な文化財を継承することに努めたとともに、後継者の育成を図った。
7	かわべ扇子おどり保存会	17,000	河辺ふるさと祭りなどに出演することを通して、「扇子おどり」の継承とともに、後継者の育成に努めることができた。
【活動を自粛した団体】			
番号	補助金交付団体名 (文化財指定区分)	交付金額(円)	事業の効果
1	豊茂五ツ鹿踊り保存会 (市指定無形民俗文化財)	0	豊茂地区で継承されている郷土芸能であるが、今年度も練習参加者が少なく活動を自粛した。

主馬神伝流保存会
夏季水泳学校

藤縄神楽保存会
大洲まつり・郷土芸能競演

大谷文楽保存会
肱川中学校・総合学習

かわべ扇子おどり保存会
かわべふるさと祭り

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
文化財の修理、防災について	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財の修理においては、十分な事前調査を行い関係法令・条例に基づく適切な修理・整備を行う。また、文化財の防災については、各地域の自主防災組織の育成を図るとともに、火災予防の啓発、消火訓練などを通じて火災発生を未然に防ぐ取り組みに努める。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

●文化財の修理・整備について

〇市指定史跡「古学堂跡」
平成30年7月豪雨で被災した古学堂跡に残る学室について、建物の破損が著しいことから保存修理工事を実施した。

〇国名勝「臥龍山荘庭園」
臥龍山荘庭園の維持・管理について、専門家の指導による植栽・庭園整備を実施した.。今年度は、石段や石敷の敷き直し、支障木の伐採、客土補充による地割修復などを実施した。

●文化財の防災

〇指定文化財の防火・防犯対策
「文化財防火デー」に合わせ、市内の文化財建造物の消防用設備点検を実施。
令和7年1月23日　対象：大洲城下台所（県有形）、麟鳳閣（市有形）、新谷藩金蔵（市有形）など
〇消防署及び消防団による消火訓練　　令和7年1月19日　対象：宇都宮神社本殿（市有形）
〇如法寺仏殿（国重文）における、年2回の防災設備点検。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	文化財所有者、消防機関、市教育委員会が連携して総合的な防災計画を立てるとともに、定期的な消火訓練などを行うことで、文化財に対する防災意識の高揚を図るほか、防犯体制、損傷被害時の報告体制など、所有者の防犯強化を含めた注意喚起する必要がある。

状況を示す写真や資料等

「臥龍山荘庭園」整備の様子
（令和7年1月17日）

「宇都宮神社本殿」での消防訓練の様子
（令和7年1月19日）

古学堂跡学室保存修理の様子
（令和6年4月10日）

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
文化財の保存及び活用の普及・啓発	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	市内に所在している文化財について、観光パンフレット等で積極的に紹介するほか、市のホームページにおける文化財情報の更新を図ることで新しい情報発信を行い、文化財の普及・啓発に努めるとともに、文化財をテーマとした学習講座や展示会、発掘調査の現地説明会などを積極的に開催することにより、市民が身近に文化財を感じられる機会の提供に努める。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

・村島宮の首遺跡現地説明会　令和6年8月3日　参加者：18名
・村島宮の首遺跡親子発掘体験会　令和6年8月24日　参加：6名

・文化財説明板等の整備
　【指定文化財説明板】4基新設　　旧大洲商業銀行本店（市有形）、山本尚徳邸跡（市史跡）、豊茂三島神社のイチョウおよびカヤ（市天然）、二宮敬作住居跡（市史跡）
　【国史跡等説明板】5基新設　　八幡浜街道夜昼峠越（国史跡）2基、伊予遍路道大寶寺道（国史跡）等3基
　【パンフレット】1件更新　　旧末永家住宅主屋・百帖座敷（国登録）

・古学堂（市史跡）授業再現イベント（講師：大本敬久 愛媛大学地域推進機構特定准教授）
　令和6年11月10日　参加者：24名

・大洲市立博物館特別展「蘭学者　武田斐三郎」 会期：令和6年10月8日～12月15日
　郷土の偉人であり、五稜郭（函館）の設計で有名な武田斐三郎に焦点を当てた特別展を開催した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	市内に所在する文化財のなかでは、とくに山間部に位置するものは概して認知度が低い。説明板の更新や文化財紹介冊子等の作成など、市民と文化財の距離が縮められるような工夫を凝らす必要がある。

状況を示す写真や資料等

市有形文化財「旧大洲商業銀行本店」説明板整備
（令和6年11月19日）

村島宮の首遺跡現地説明会
（令和6年8月3日）

古学堂授業再現イベント
（令和6年11月10日）

村島宮の首遺跡親子発掘体験会
（令和6年8月24日）

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
重点区域内での埋蔵文化財の取り扱いの強化	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	重点区域内にある「大洲城跡」では、周知の埋蔵文化財包蔵地以外の箇所でも新たな包蔵地の把握に努めるとともに、遺跡が確認された場合には包蔵地台帳への記載を進め、台帳の更新を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和5年6月に大雨の影響により一部が崩落した石垣D-1箇所の修理工事に着手した。まず、石垣天端上の平坦部分の発掘調査を実施し江戸時代の遺構について調査・記録した後、石垣の解体および石垣裏側の発掘調査を実施した。調査の結果、石垣石材に割れが生じたものが多数見られることや、裏込石が少ないことなど、石垣に構造上の問題があることを確認することができた。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	土地の買収等によって公有地化された場合は、継続的に試掘調査を実施し、遺構の残存状況を把握しながらデータを蓄積していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

元禄絵図にみる大洲城内の発掘調査地点

石垣D-1箇所の天端上で検出された遺構
（令和7年1月14日）

石垣D-1箇所の石垣解体の様子
（令和7年1月30日）

石垣D-1箇所の発掘調査の様子
（令和7年2月27日）

評価軸④-4
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
文化財の保存又は活用に関わっている住民、NPO法人、各種団体等の活動について	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財の保存又は活用に関わる各種団体について、活動への助成、活動に必要な情報の提供、団体間の相互連携の調整等の支援を行い、官民協働による活動の展開を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

●文化財を活用した各種団体の活動
・旧末永家住宅百帖座敷（国登録有形文化財）「五月人形展示」 令和6年4月5日～5月12日
「雛飾り展示」 令和6年2月21日～4月5日
・伊予遍路道大寶寺道（国史跡）「おもてなしへんろ道ウォーク」 令和7年2月23日　参加者：18名

●文化財の保存に関わる各種団体の活動
・大洲城台所櫓・高欄櫓（国重要文化財）「文化財ボランティア清掃活動」 令和6年12月13日
・大洲神伝流泳法（県指定無形文化財）「大洲市寒中水泳大会」 令和7年1月13日　参加者：52名

●伝統芸能団体等の活動や後継者育成支援（郷土芸能保存会補助金事業） ※進捗評価シートP8参照

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	市の全域に会員を有して活動する団体は少なく、また、高齢化によって活動の範囲が徐々に狭まっている。活動に必要な情報提供や団体間の相互連携の調整等、団体の活動を支援するための方策を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

末永家住宅百帖座敷での五月人形展示
（令和6年5月11日）

大洲城での文化財ボランティア清掃活動
（令和6年12月13日）

肱川でおこなわれた「大洲市寒中水泳大会」
（令和7年1月13日）

伊予遍路道大寶寺道でおこなわれた
「おもてなしへんろ道ウォーク」
（令和7年2月23日）

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
	評価対象年度	令和6年度
神楽やバザーで里山にぎわう　大洲「柳沢ほたるまつり」	R6.6.12	愛媛
大洲の元庄屋屋敷が旅館に　マックスエージェント（松山）が開設	R6.6.13	愛媛
大輪3000発、水郷の夜空彩る　大洲で花火大会	R6.8.3	愛媛
大洲城の果たした役割、資料でたどる　天守復元20周年で企画展	R6.8.16	愛媛
世界の持続可能な観光地アワードで大洲市銀賞　四国初の受賞	R6.10.3	愛媛
豪雨被災の大洲「古学堂」修復し完成式典　江戸-明治期の私塾	R6.10.25	愛媛
五稜郭（北海道・函館）設計　武田斐三郎の勤勉さ感じて　市立博物館で特別展	R6.10.31	愛媛
大洲城下で伝統「お成り」　装束姿の行列、時代絵巻再現	R11.3	愛媛
龍馬脱藩の志に思いはせ　大洲・河辺でウォークイベント	R6.11.10	愛媛
大洲の私塾「古学堂」の授業風景再現　和装の子ら当時の教育内容学ぶ	R11.10	愛媛
学んだ人形遣い、懸命に　大洲・肱川中で「大谷文楽」発表会	R6.11.20	愛媛
愛媛県大洲市、持続可能な観光地で銀賞　中村知事に報告	R6.12.2	日経
大きな福を呼ぶタイ、参拝客ら争奪戦　大洲神社で「十日えびす」	R7.1.10	愛媛
水温5度、冷たさのあまり雄たけび　大洲・肱川で寒中水泳大会	R7.1.13	愛媛
成人の日祝い寒中水泳…大洲	R7.1.14	読売
準大賞に「大洲城下町再生の物語」　観光庁、持続可能性観点に旅行商品選定	R7.1.22	愛媛
地域再生大賞　大洲のDMO「キタ・マネジメント」が準大賞	R7.1.26	愛媛
大洲・八多喜で31日まで「祇園まつり」　厄除け家内安全祈る	R7.1.29	愛媛
［地域力］大洲市（愛媛県）…城下町に古民家ホテル	R7.2.19	読売
「大洲城泊」仕掛けに賛辞　地域再生大賞、キタ・マネジメントに準大賞表彰	R7.2.27	愛媛

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

古学堂の保全や「世界の持続可能な観光地アワード」で受賞、観光まちづくりの取り組みなど歴史資源、文化資源に関する情報発信が、特に団体や民間事業者により積極的になされており、歴史まちづくりが進んでいると言える。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	報道機関等のマスメディアへの情報提供は団体や民間事業者により積極的になされている。また、SNSやウェブサイトなどのデジタル情報発信の活用も重要である。、

状況を示す写真や資料等

左から
・修復された古学堂
・無形文化財「神楽」
・世界の持続可能な観光地アワード受賞

評価軸⑥-1
その他（効果等）

評価対象年度	令和6年度

項目

「大洲市歴史的風致維持向上計画（第2期）」掲載事業の進捗状況

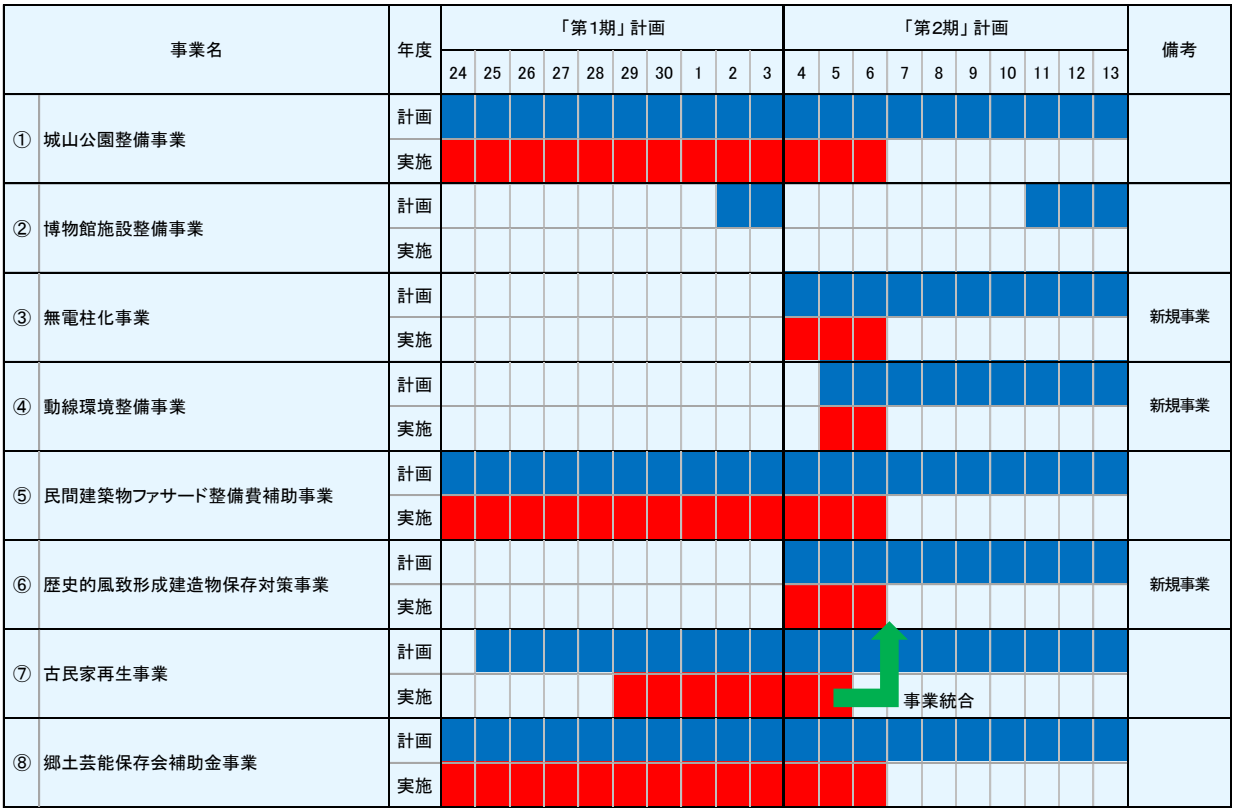
計画に記載している内容	（計画に記載なし）

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付*

第2期計画に掲載している8事業のうち、第1期計画からの継続事業は、事業計画に基づいて引き続き実施した。
また、新規3事業についても、順次事業が進められている。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	1期計画の成果と課題を整理するとともに、関連計画との整合を取りながら2期計画を推進し、本市の歴史的風致の維持向上を図る。

計画掲載事業の実施状況



①城山公園整備事業

改修中の大洲城の石垣

⑦古民家再生事業

空き家となった古民家を
改修活用した店舗・宿泊施設

⑧郷土芸能保存会補助金事業

県指定無形文化財
「大洲神伝流泳法」

評価軸⑥-2
その他（効果等）

評価対象年度	令和6年度

項目

官民連携で取り組んだ古民家改修事業などの歴史的資源を活用した観光まちづくりに対する外部評価

計画に記載している内容	重点区域内にある古民家について、その建築物が元々持っている外観と室内空間の良さを残しつつ、現代の暮らしとニーズに合わせた機能性の向上、構造補強による安全性の向上を図った住宅・店舗への改修等を支援することにより、建物の保全及び活用を図る。

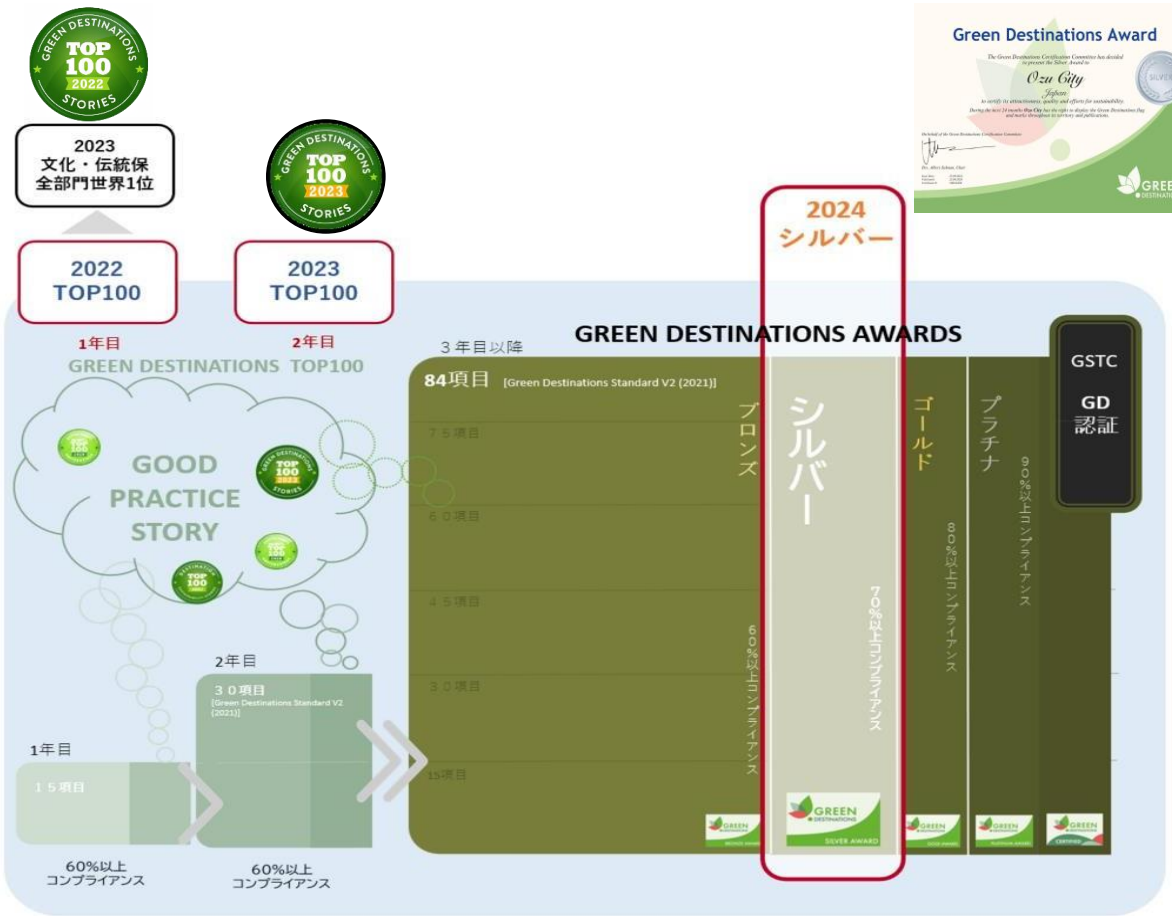
定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付*

令和6年9月、世界の持続可能な観光地の国際認証団体のグリーン・デスティネーションズが実施する「世界の持続可能な観光地アワード」（GDアワード）において、大洲市と小豆島がシルバーアワードを受賞。
これは四国初であり、国内では令和5年北海道ニセコ町シルバーアワード、令和6年岩手県釜石市ゴールドアワードに続く受賞となる。
大洲市は、令和4年、令和5年に「世界の持続可能な観光地TOP100選」（GDTOP100）に2年連続で選出され、令和5年にはGDTOP100の中でストーリー評価に重点を置いた「グリーン・デスティネーションズ・ストーリー・アワーズ」の「文化・伝統保全部門」で世界1位を受賞するなど、当市の歴史的資源を活用した持続可能な観光まちづくりが世界で注目されてきた。
今年度は、より上位のGDアワードへ挑戦することとし、これまでのGDTOP100の30項目を含む84項目について審査を受けた結果、神楽をはじめとする無形文化財の保存・継承や歴史的建造物の保全を行うための観光まちづくりの仕組みづくりや活動だけでなく、地域事業者との勉強会「大洲まちづくり大学」やまちづくりワークショップ「ディエゴ・アカデミア」、地元の小・中・高生にまちづくりの視点を学んでもらう「観光教育」を行っていることや再生エネルギーの導入計画、ゲンジボタル保存活動など市全体の持続可能な取り組みが評価を受け、シルバーアワードを受賞することができた。
令和4年9月　世界の持続可能な観光地TOP100 2022に選定。
令和5年3月　「グリーン・デスティネーションズ・ストーリー・アワード」「Culture & Tradition（文化・伝統保全）」部門で、大洲市が世界1位を受賞。
令和5年10月　世界の持続可能な観光地TOP100 2023に選定。
令和6年9月　世界の持続可能な観光地アワード　シルバー賞 受賞

GDアワード等の外部評価もあるが、令和7年2月に実施した住民アンケートにおいて、歴史的建造物を観光まちづくりに活用することについての賛同意識が93.0%となっており、当該事業による歴史的な建造物活用への理解が深まっている。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	今後も地域に残る歴史的な建造物等を保全活用しながら観光客を受入れ、地域経済を活性化させることにより、地域の雇用の安定、収入獲得の機会を創出させる持続可能な観光まちづくりを進めていく。

状況を示す写真や資料等



法定協議会等におけるコメント　（様式2）

評価対象年度		令和6年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称：大洲市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時 ： 令和7年3月25日（火）

（コメントの概要）

・委員より、松山城の土砂災害の発生などから大洲城の石垣の点検状況について問われ、事務局より「大雨や地震の発生などの際に担当者がその都度点検している」との回答があった。

・委員より、景観整備について、補助金を利用している以上、連続性（連坦性）のある壁面線の構築を維持してほしい旨の意見があった。

・委員より「県指定無形文化財の『大洲神伝流泳法』は『主馬神伝流泳法』の名称に変更されるべきでは」との指摘に対し、県教委の委員より「名称変更手続きについては、市教委との協議となる」と回答があり、会長より検討をするよう意見があった。

・委員より、文化財の価値を損なうことなく、いかした形で観光に活用してほしい旨意見があった。

・委員より、イベントや説明会の開催など地域住民に対して建造物を見ながら大洲の歴史に触れられる機会を設けてほしい旨の意見があった。

・委員より、郷土芸能保存会の課題と対応方針について、継承や後継者育成に焦点を当てた情報発信（SNSなど）支援すること、また文化財説明板について、地元の多様な資料を活用するなど、理解を促進し共感を得るための工夫が必要との意見があった。

・委員より、観光まちづくりに対する外部評価シートには、世界的な受賞が市民にとって文化面などでどのような意義を持つのかを記載すべきとの意見があった。

（今後の対応方針）

【歴史ある町並みの維持・向上】
　歴史ある町並みの維持・向上のため、歴史的風致形成建造物の改修・修理を実施すると共に、景観計画に基づく規制及び景観に係る補助金の支給基準の見直しを図る。

【歴史的風致の意識向上】
　地域住民を中心に歴史的建造物の歴史・文化・魅力を伝え、歴史的資源である町並みの価値に気づいてもらえるようなイベントを開催することにより、歴史的風致に関する意識向上を図る。